

ニッパツはものづくりを通じて 豊かな社会の発展に貢献します。



日本経済は、個人消費の低迷、法改正の影響による住宅投資の落ち込み、設備投資の減速などから、国内需要は低調に推移しました。一方、輸出はサブプライムローン問題の影響で景気が減速している米国向けの不振を、新興国や資源国向けが補うことで増加が続きました。

私たちニッパツグループは、主要な得意先であります自動車関連および情報機器関連の需要拡大により、安定した経営を維持してまいりましたが、一方で原油・原材料価格の上昇、それに続く生活必需品の値上げなどがあり、先行きは全く不透明な状況となっています。この難局を乗り切るためには、慎重かつ積極的な経営判断が必要となります。

2008年度は、2010年に向けた新たな中期経営計画「10中計」の初年度にあたります。「10中計」では、経営の透明性をさらに高め、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様との信頼関係を構築するため、CSR活動をより積極的に推進してまいります。そしてステークホルダーの皆様から信頼される企業行動をとってまいります。社会のニーズに応えるグループリスクの管理体制(グループ内部統制、大地震対策など)を確立するとともに、グループをあげて運用していく所存です。

特に、環境問題に対しては、生産活動や製品が地球環境に与える負荷を最小化するための努力を重ね、

豊かな社会の発展に貢献していきたいと考えています。

この報告書は、当社が果たすべき社会的責任について、私たちの考えと活動の一端をご理解いただきたくまとめさせていただきました。まだ不十分な内容ではありますが、今後の活動に向け、皆様におかれましては、一層のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



日本発条株式会社
代表取締役会長

佐々木 謙二

代表取締役社長

天本 武彦

私たちニッパツの従業員は、「社訓」の精神をもって、
「企業理念」に則った事業活動を遂行します。

社 訓

躍進のニッパツ
根性のニッパツ
みんなのニッパツ

企 業 理 念

グローバルな視野に立ち
常に新しい考え方と行動で
企業の成長をめざすと共に
魅力ある企業集団の実現を通じて
豊かな社会の発展に貢献する

Contents

事業分野と主な製品



自動車分野

- 板ばね、コイルばね、スタビライザなどの懸架ばね
- シート/シート用機構部品/内装品
- 線ばね/薄板ばね/精密加工品
- ポリウレタン製品



情報通信分野

- HDD用サスペンション、HDD用機構部品
- 線ばね/薄板ばね
- 液晶・半導体検査用プローブユニット
- 精密加工品
- セラミック製品
- ろう付品
- プリント配線板
- ポリウレタン製品
- 偽造防止システムほかセキュリティ製品



産業・生活分野

- 駐車装置
- 配管支持装置
- ガススプリング
- ポリウレタン製品
- ばね機構品

編集方針

この報告書は、環境省発行「環境報告ガイドライン(2007年版)」を参考に作成しました。株主、投資家、お客様、サプライヤー、各事業所周辺の地域の方々、従業員とその家族などを対象としています。また今年度から「CSR報告書」と「アニュアルレポート」を統合し、新たに「ニッパツレポート」として発行します。社会性・環境報告に、財務報告を加えて、一層の充実を図りました。

報告対象範囲

この報告書は、原則として2007年4月から2008年3月のニッパツグループの事業活動を対象としています。また発行が9月のため、大きな進捗については2008年4月以降の活動も掲載しています。

トップコミットメント	1
事業活動・CSRハイライト2007	3
特集：ニッパツのものづくり	5
社会性報告	13
CSRマネジメント	14
ステークホルダーへの姿勢	17
環境報告	24
環境マネジメント	25
環境パフォーマンス	32
環境データ	36
財務報告	49
関連会社概要	72
ニッパツ会社概要	74